



敷島南小学校  
学校便り NO.1  
令和6年4月16日  
学校長 五味 正年

## 令和6年度の始まり

春の温かい日差しが校庭をつつみ、木々も若葉が茂り、草花の瑞々しい匂いがしています。すっかり春の装いとなりました。新たなエネルギーが満ちています。

新年度、新たな職員15名を迎え「チーム敷南」として、私たちは新たな気持ちでがんばっていきます。今年度も昨年度同様、保護者や地域の方々の御理解・御協力をお願いいたします。

## 入学式が行われました。

4月5日（金）、令和6年度入学式が行われ、76名の1年生を迎えました。

入学式では、担任の先生が一人一人呼名し、入学生から元気に「はい」と返事が返ってきました。続けて、明るい社会づくり運動協議会より黄色い帽子をいただきました。

6年生からは、昨年度末から準備してきた敷島南小学校生活の様子の劇があり、1年生に学校の様子を知らせることができました。6年生はリーダーとして、とても素敵な発表をし、1年生も食い入るように見ていました。その後、1年生からお礼に「1年生になったら」の歌のお返しがありました。とても元気に歌うことができました。これからの学校生活が、素晴らしいものになっていく予感がしました。

入学式が終わると、各学級で保護者を含め、入学後の学校生活について説明が行われました。



## 新任式・始業式

4月8日（月）には、新任式・始業式を行いました。

新任式では、新任の先生と全校児童との顔を合わがありました。新任の先生方一人ひとりから自己紹介があり、先生たちのやる気に満ちた表情とコメントが子どもたちを湧かせていました。児童会長の「歓迎の言葉」では本校の紹介として、元気な子どもが多く、あいさつに力を入れてがんばっていることなど伝えることができていました。式の終わりには、子どもたちから「よろしくお願いします。」のあいさつと温かい拍手でとてもよい雰囲気になりました。

始業式では、改めて全校児童416名の「おはようございます。」のあいさつがあり、とても迫力があり、私は、元気をもらうとともに、とてもいい気持ちになりました。子どもたちの顔は、新年度の始まりにふさわしく、期待に満ちた表情がありました。私からは、2つの話をしました。1つ目は、1学期にどんなことをしたいか「目標」をもってほしいことです。自分は何をしたいのか、しっかり持っているか否かでは大きな違いが出ます。ゴールがはっきりしていることで、より具体的な取り組みができ、よりそれに近づけるようになります。2つ目は、いろいろなことに「チャレンジ」してほしいことです。何でもやってみなければわかりません。うまくいかないかもしれませんが、やったことによって「ああ、〇〇すればよかった。次は〇〇してみよう。」と もっとよくなる方法を考えるようになります。これが大切なのです。よりよくなる方法を考えたり見つけたりする過程が大切なのです。続けることで、何があっても自分で考え、乗り越える力がつくはずですよ。真剣に話を聞く子どもたちの姿を見てみると、これからがとても楽しみにになりました。

続いて先生方の担当と担任発表に移りました。子どもたちにとっては、この日一番の関心事だったかもしれません。担任の発表があるごとに拍手が湧きました。子どもたちにとって、とてもいい出会いができたように感じました。

## 私が出会った素敵な子どもたち

4月9日の風の強い日、職員が付き添いながら子どもたちは下校をしました。雨はあまり降っていませんでしたが、傘をさして帰る子が多くいました。その中の一人が、強風に傘が飛ばされ、畑に入ってしまい困っているところに、6年生がさっと現れ、傘を取ってくれました。その6年生の姿は、とてもかっこよかったです。

